

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1130 2014年5月号

平成26年度四国森林管理局事業概要記者発表

4月23日に、平成26年度の四国森林管理局の事業概要について、
記者発表を行いました。 【詳細2頁】



事業概要の説明の様子





柱に沿って事業展開を図ることとしています。

一 公益重視の管理経営の一層の推進

四月二三日に、平成二六年度四国森林管理局事業概要について記者発表を行いましたので紹介します。

「基本計画」において、国産材の安定的・効率的な供給体制の構築への貢献や、森林吸収源対策への率先した取組などが記載されたことを踏まえ、国有林の組織、技術力、資源を活かして、造林・間伐等のコスト削減や路網整備、木材安定供給をはじめ地域の森林・林業の課題解決のための取組について引き続き実績を積み重ねていくよう、林野庁と一体となつてその推進に努めてまいります。

成となることにも配慮し、多様で健全な森林への誘導を促進することとしています。

このため、引き続き間伐の実施を促進するとともに、伐期に達した人工林については、将来の森林によるCO₂吸収量の継続的な確保等を念頭に、主伐及び主伐後の造林を促進することとしています。

県の緊密な連携による重点的・総合的な治山対策が求められています。そのため、各県と連携して、民有林と国有林相互の事業調整を図りながら治山施設の設置、森林整備を推進する「特定流域総合治山対策」を実施します。

国有林野事業は、一般会計の下での事業運営にあつて、公益重視の管理経営の一層の推進及び我が国の森林・林業再生への貢献を旨として、民有林との連携に積極的に取り組みつつ、これまで以上に計画的かつ効率的な実行に努めてまいります。

先した取組などが記載されたことを踏まえ、国有林の組織、技術力、資源を活かして、造林・間伐等のコスト削減や路網整備、木材安定供給をはじめ地域の森林・林業の課題解決のための取組について引き続き実績を積み重ねていくよう、林野庁と一体となつてその推進に努めてまいります。

① 計画的な森林整備の推進 (取組例)

そのための、今年度からは具体的な主伐候補箇所の選定等に着手して、平成二七年度以降の森林計画に反映させていきます。

特に、今年度は、昨年

一二月に策定された新たな「国有林野の管理経営に関

② 治山事業の推進

国有林と民有林が隣接する流域において、国と

的に均衡がとれた年齢構

国有林内の谷止工施工状況



国有林内の谷止工施工状況

奈半利川地区崩壊地全景



また、民有林についても、平成二三年台風六号の豪雨被災地区や土石流対策等の必要が生じている地区等において、国による治山対策を実施します。

このように、国民の安全・安心を確保するため、効果的・効率的な国土保全対策を推進することとし、「緑の国土強靱化」

ポランテアとの協働による防護ネット柵の設置



の推進に努めます。

③ ニホンジカ被害対策の推進

四国の東部・西南部を中心に、ニホンジカによる農林業・自然植生への被害が深刻化しています。

このため、四国森林管

理局では、国有林内での捕獲に努めるとともに森林地域で捕獲効率を向上させるための技術開発に取り組んでいます。

わなによる捕獲については、設置箇所を拡大し、さらに、これまで収集したデータを活用した捕獲効率の向上、捕獲数の増大を目指します。

また、高知県や登山団体等一〇機関・団体と連携した三嶺での連携捕獲の実施、効果的な捕獲に繋がる技術開発成果の共有等を目的とした検討会の開催、シカ対策に係る協定の締結等による地域での協力体制の構築など、民国が連携した被害対策の推進に取り組みます。

「馬路村内国有林におけるシカ被害防止対策推進協定」の締結



④ 生物多様性の保全に向けた取組

野生動物の移動経路や生育・生息地を確保し、貴重な森林生態系を維持して生物多様性を保全するため、平成一五年三月に設定した「四国山地緑の回廊」(石鎚山地区・剣山地区…一八千ha)を

対象として、野生生物の移動実態等の把握を目的としたモニタリング調査をNPO等の協力を得て継続的に実施します。

これまでのモニタリング調査では、剣山地区において、四国では絶滅が危惧されているツキノワグマの生息状況を確認し、昨年度は親子グマを



ツキノワグマ親子

クマタカ



撮影することができました。

また、平成二五年度には石鎚山地区のクマタカ営巣地を中心に、上流から下流部までの連続的な森林を確保する「溪畔保全プロジェクト林」を設定するなど森林生態系ネットワークの形成に努めています。

二 森林・林業再生に向け

た貢献

我が国の森林・林業の再生に向けて、国有林の組織、技術力、資源を活用し、民有林と連携した施業の実施、森林・林業技術者等の育成、低コストで効率的な作業システムの提案・検証や先駆的な技術・手法の事業レベルでの試行、林産物の安定供給等を通じ、民有林の経営に対する支援等に積極的に取り組みます。

(取組例)

① 民有林と国有林が連携した森林整備の推進

地域における施業集約化の取組を支援するため、連携による事業の効率化や低コスト化を図ら

れる区域については、森林共同施業団地を設定し、民有林と連携した路網の整備と相互利用の推進、計画的な間伐等の実施に取り組みることとしています。

平成二五年度には、徳島森林管理署が平成二〇三年三月に徳島県林業公社・徳島県農林水産部林業振興課林業再生推進室と協定を締結した箇所(那賀町)について、新たに那賀町、水源林整備事務所を加え、五者による「六丁地域森林整備推進協定」を締結しました。

今後、森林共同施業団地の新たな設定に取り組むとともに、既設団地

での民有林と国有林を連結した路網の整備や森林整備等に取り組みます。

また、国が民有林の森林整備を行う「公益的機能維持増進協定」の締結に向けて、森林所有者等関係機関と連携を図りながら取り組んでいくこととしています。

② 国有林のフィールドを

活用した人材育成の取組
木材の安定供給、地域全体のより良い森づくりを実現していくためには、これを指導等できるフォレスターが我が国でも求められています。

四国森林管理局は、こうした人材の育成にも貢献するため、平成二三年度から二五年度においては、都道府県や国の職員等を対象にした准フォレスター研修を実施しました。

今後においても、当局のフィールド、人材等を活かしながら、将来、森林総合管理士(フォレスター)の候補となる若手技術者の人材育成に取り組みます。



五者による協定の締結式

また、各県のフォレストと連携しながら、市町村森林整備計画の作成や森林経営計画の認定など、民有林施策を支援していくこととしています。



技術者育成研修

③ 低コスト・高効率な間伐の推進

四国森林管理局においては、路網と林業機械を組み合わせた作業システムを積極的に導入してお

り、前年度は契約件数の約八割を同システムで実施しています。

本年度は、さらに低コストで高効率な間伐の推進に向けて、次の五点に取り組みます。

(1) 路網と林業機械を組み合わせた間伐事業の積極的な発注。

(2) 効率的な搬出作業につなげるための列状間伐の検討を進め、導入を図ること。

(3) 林業事業者等の創意と工夫を取り込み、より良質かつ低廉な間伐を実現しようとする民間競争入札による、三年間にわたる複数年契約の間伐の拡大。

(4) 繰り返し使用に耐

える丈夫で簡易な森林作業道の設計・作設技術の向上、及び、急峻地等における架線系作業システム（タワーヤード等）の導入等についての現地検討会の開催。

(5) これらを通じた低コストで高効率な作業システムの民有林を含めた普及・定着。

これらを通じた低コストで高効率な作業システムの民有林を含めた普及・定着。



森林作業道の開設

④ 国有林材の安定供給システム販売
大型製材工場が高知県大豊町に建設され操業を開始しました。徳島県小松島市にも新たな製材工場が建設中です。また、愛媛県では外材を国産材に切り替えている大型製材工場も出ています。さらに、バイオマス発電を行うプラントが高知県内二箇所に建設中です。

こうした新たな動きに対し、国有林材の安定供給システム販売を通じて、特に初期段階の供給を政策的に支え、間伐材を製材品だけでなく、CLT（直交集成板）を含む集成材や合板、紙の原料として、さらにバイオ

マス燃料等として無駄なく利用する取組を進めていきます。

⑤ 治山事業・森林整備事業における間伐材等木材利用の推進

地球温暖化の防止や資源循環社会の形成等に資する観点から「新農林水産省木材利用推進計画



溪流荒廢地に木製残存型柵を使用し施工した谷止工

（平成二二年度～平成二七年度）が策定され、公共土木工事においては「グリーン公共事業の推進」という取組方針の下に、間伐材等木材利用の拡大を図ることとしています。

四国森林管理局においても、治山事業・森林整備事業における間伐材等木材利用の推進に取り組んでいます。

平成二五年度は、治山ダム工等の型枠に木製型枠を使用するなど、全体の事業実施箇所（一三七箇所）のうち約八割の箇所において間伐材等木材利用を実施しており、平成二六年度においても、引き続き木材利用の推進を図ります。

林道に施工した木柵工



⑥ コンテナ苗の導入など

造林の低コスト化に向けた取組

地球温暖化防止の上で、間伐に加え、主伐とその後の再造林を推進することが必要になることを踏まえ、四国森林管理局では、コンテナ苗やエリートツリーの導入等、民有林の模範となるような効率的、低コスト

な事業実施及び技術開発に努めることとしています。

コンテナ苗については平成二三年度に試験的に八〇〇本植栽したのを皮切りに、平成二五年度末に約五千本を植栽しました。また、エリートツリーを全局に先立ち、初めて一九〇〇本植栽しま



杉ノ熊山国有林に植樹したエリートツリー

した。

平成二六年度は管内国有林で約九七ha（スギ、ヒノキ約二九万本）の植栽を予定しており、この中で、コンテナ苗やエリートツリーの供給可能な量を見極めつつ、これらを積極的に植栽していくとともに、現地検討会の開催等により普及に努めます。



コンテナ苗

三 国民の森林としての管理経営、地域振興への寄与

国有林を活用したふれあいの場の提供、森林環境教

育の取組を推進するとともに、森林への理解を深めるための各種イベントの開催等に取り組みます。

（取組例）
① 木の文化を支える林産物の安定供給

「木の文化」の象徴でもある伝統的木造建造物を将来にわたって維持・継承していくため、必要な資材を安定的に供給し



祖谷のかずら橋

地元中学生によるシラクチカズラの挿し木



ていけるよう、森林づくり活動を推進します。国指定重要有形民族文化財の「祖谷のかずら橋」は、老朽化が早く、三年毎に架け替えられており、平成二六年度は架け替えの年に当たります。

架け替え用資材のシラクチカズラは年々確保が難しくなっています。このため、今回も国有林からの供給を図るとともに、将来に向けて近在の国有林から安定的に供給できるように、祖谷の協議会と徳島森林管理署との間で結ばれた協定に基づいた取組を支援します。

古事の森での森林整備(下刈)



また、伝統建築物への対応として、「伊予之二名島古事の森」森林づくり活動の実施や文化財資源備蓄林を設定し、文化的価値のある木造建築物等に必要の大径長尺材の供給に備えることとしています。

千本山国有林



② 森林への理解の醸成に向けた取組
四国4県とともに平成一六年度に発表した「四国の森林づくりに関する

共同宣言」に基づき、森林整備、木材利用、森林環境教育などの具体的な取組を推進しています。平成二六年度は、国民の皆様が森林に親しみ、自然と触れ合うことにより、森林への理解をより深めていただけるよう、スギの巨木が林立する魚

懐かしき森林鉄道に体験乗車



梁瀬の千本山国有林や昭和三八年に廃線となった魚梁瀬森林鉄道の遺産を訪ねる散策ツアーを秋季に実施する予定です。また、四国の森づくりに積極的に取り組む団体、企業等を対象として「四国山の日賞」を募集し、選考された団体を表彰します。

四国山の日賞表彰



また、四国の森づくりに積極的に取り組む団体、企業等を対象として「四国山の日賞」を募集し、選考された団体を表彰します。

③ 小・中・高等と連携し

た森林環境教育

小・中・高の生徒等を対象に、国有林のフィールド等を活用した森林教室や間伐体験、木工クラフト教室等を各学校等と連携して実施します。これにより、森林の果たす大切な役割、木材の良さ

等の理解を深め、自然環境への関心を高めてもらいます。平成二五年度は約一二〇回の森林教室を実施しました。

平成二六年度も引き続き、森林・木工教室の実施や学校林等においての間伐体験等の体験林業を実施します。



高校生を対象とした二ホンジカ食害防止対策の学習



中学生を対象とした学校林での間伐体験



公益社団法人森と緑の会主催による、「春の緑の街頭募金」が四月二〇日、高知市の中央公園及び帯屋町商店街で行われました。今回はご当地ヒーローのゴメンジャーのショーがあった

り、また、募金活動にも参加するなど、毎回参加のくろしお君とともに、いつも以上に親子連れの関心を集めていました。

出発式の後、浅川局長をはじめボランティアスタッフがご協力をお願いします。」と大きな声でアーケードを

行き交う人々に募金の協力を呼びかけるとともに、森林の大切さを訴えました。



当日は、朝から小雨が降り、足下の心配をしていましたが、式が始まる直前に



街頭募金の様子

は雨もやみ、買い物客や「赤ちゃん会」の帰りと思われるベビーカーをおした親子が足を止め、たくさんさんの善意が寄せられました。

この「緑の募金」は五月三十一日まで行われており、いただいた募金は、水源の森林づくりや、緑の少年団の育成、国際緑化事業などに活用されることになっています。



「金ちゃん工房」行脚

《技術普及課》

「金ちゃん」こと正岡金四郎さん(〇B)は、木工歴三〇有余年、在職中から森林教室(木工教室)の指導にも力を注いできました。

退職後は本格的に局の森林教室のお手伝いをして頂くようになり、平成二五年度は、親子ふれあいツアー、夏休み森林教室一回、夏休み期間中には、森林ふれあい館において、木工品や森林鉄道写真の展示及び木工教室を開催していただきました。

二五年度は、高知市以外からの要請も多く、香川県飯山町、宇和島市、愛媛県松野町、久万高原町、四万十市西土佐、宿毛市、大月町の小学校や産業祭、林業祭等での木工指導、四国銀行「協働の森」での木工指導、その他に高知市内の小学校での一日先生、介良祭り、土佐市の小学校での山の手フェスティバル、高知市鏡川こども祭りでの木工指導等三〇数回も指導して頂きました。

この催しは中芸観光協議会が主催で第一回は、高知市中央公園で開催したようですが、二回目の今回は、「開催地を中芸地区に設置することにより、実際に中芸の魅力に触れてもらい、再度訪れてもらおうきっかけづくりとなるようなイベント」という趣旨のもとに奈半利町で開催されました。

この祭りへの参加は、正岡氏の知り合いが協議会の事務局をしているという縁から中芸観光協議会より要請があったものです。

当日は、晴れだったものの場所が漁港ということもあって風が大変強く、木工の材料が何度も吹き飛ばされる状況であり、子供達に来てくれるのかと心配をしておりましたが、やはり子どもは風の子、寒さももろ

ともせず約二百名の子供達が集まり、ビンゴゲームで楽しんだ後、ジーゼミ作り、カエルストラップ作り、サワガニ作りを体験しました。



ビンゴゲームを教える正岡氏

子供の中には、三種類全部作りたくて三回ビンゴを達成し作品を作った子もいました。

作る作品はやはりジーゼミが圧倒的に多く、太鼓の音も負けるぐらいのセミの鳴き声が漁港に響いていました。

今回も木で作成した玩具で遊び、木工品を自分で作るといった方法で木の良さがPR出来たのではないかと思います。

今回から登場したドラえもんのキャラクターをつかったビンゴゲームが大人気で、大人も挑戦していました。ある親御さんは、「これ本当に作ったがあ?」ようにできちゃうね」とゲームよりもゲーム機に目を丸くしていました。



木工の指導をする正岡氏

各地のたより



【林野庁長官感謝状授与式】

◆右側 平井会長

◇左側 井上業務管理官



五月一四日、国民の森林づくり推進功労者として、当局から推薦しました「南つるぎ地域活性化協議会」【会長 平井 滋】への林野庁長官感謝状の贈呈が、徳島森林管理署において、当局の井上業務管理官より行われました。

南つるぎ地域活性化協議会は徳島県那賀町を基盤

設立しました。

徳島県三好市東祖谷、美馬市木屋平、那賀郡那賀町木沢の間に位置する。剣山（標高一九五五m）は、多様な動植物が生息する豊かな自然に恵まれており、また、古くから人々に親しまれ、毎年多くの人が訪れる徳島県の代表的な観光地です。

しかし、近年の地球温暖化による気候変動の影響や、ニホンジカの食害をはじめとする生態系の急激な変化などにより、この地域では登山道の荒廃が急速に進行してまいりました。

これにより、登山客の通行が妨げられるだけでなく、森林、水源地及び生態系等の自然環境を十

分に保全することができ

ない状況となつてまいりました。このため、登山道の修復による持続的な環境保全活動を展開し、さらには地域住民以外にも意識啓発と活動参加を促すことで、この地域の自然の魅力を観光資源として多くの人々に発信し、交流人口の増加による地域活性化に繋げることを目的として、南つるぎ地域活性化協議会が設立されました。

剣山を登山する観光客の多くは、北側の見ノ越登山口を利用しており、剣山南側地域は、登山道等も荒廃してまいりました。

本会設立後、登山道整備や案内板設置を平成二三

年度～二五年度に計一回、延べ二八〇名で実施し

ました。また、登山道周辺の樹木をニホンジカの食害から守るための樹木ガードの設置や登山道整備とあわせて清掃活動も行いました。その間、平成二三年一二月には、「第一回四国の右下 食博覧会 南阿 波井祭り」及び「南つるぎ写真パネル展」を開催し、約二万人の来場者にPRするなど、南つるぎの地域活性化に貢献し、この会の活動は、

地元、徳島新聞にも大きく取り上げられ、広く一般市民に支持されています。

また、登山道及び樹木ガードを設置した箇所は、

すべてが徳島森林管理署管内の国有林であり、国有林への貢献も多大であることからこのたびの感謝状の授与に至ったものです。

なお、受賞者の平井会長は、「すばらしい賞を頂き、ありがとうございますま



【林野庁長官感謝状授与後】

◇右側 堀徳島森林管理署長

◆中央 平井会長

◇左側 井上業務管理官

した。今後も活動が続けて行きたいと考えています。」とコメントされました。

※南つるぎ地域活性化協議会の林野庁長官感謝状の授与については、翌日、五月一日、徳島新聞朝刊に掲載されました。



好天に恵まれた四月十九日、高知県四万十市西土佐の四万十ひろばで、今年で二回目となる、西土佐地域の食材等を集めた「しまんと川びらき&春のうまいも

のマルシェ」が開かれ、当センターの木工体験コーナーも大盛況となりました。

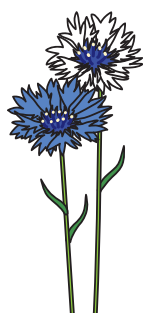
当日は、西土佐地域の食材等の出店や、会場周辺ではカヌー無料体験や屋形船の無料乗船、竹林でのタケノコ掘り体験等も行われました。

当センターの木工体験コーナーには、イベント開始前から親子連れや小学生のグループ等、沢山の人が訪れ、クマのストラップ作りや、丸太の輪切りを楽しんでいました。イベント開催中、お客さんの途切れることもなく、予定していたキットが足りない程の今までにない大盛況となり、天候にも恵まれ、

木工体験コーナー



当センターの活動についての良いPRの機会となるとともに、地域との結びつきが深められた一日となりました。



四月二五日、足摺宇和海国立公園内にある滑床溪谷で、愛媛県松野町等が主催する恒例の滑床山の山開きの神事が行われました。

この山開きには、地元の松野南小学校の全児童八名が目黒緑の少年隊として出席しており、毎年、神事の後に滑床山で森林教室を行っていきます。

今年は、松野南小学校の校庭にあるダイオウマツのマツボックリを使って六月上旬に開催される地域イベント「ほたる祭り」に出品

大きな松ぼっくり、何を飾ろうかな。



するものを作りたいたいの依頼があり、木工教室を実施しました。

作業時間が、一時間三分と短いため、各パーツはあらかじめ当センターで作製しました。各パーツをポンドで張り合わせボスカで着色するという単純なものとし、学年で差が出ないよう工夫しました。

児童達は、マツボックリを思い思いの色で着色し、最後に、ビーズを付けて、完成させました。

当日は、天気の良い新緑の中での木工教室となり、子どもたちが、大きくなって滑床溪谷で過ごした楽しい時間や森林の素晴らしさを思い出してくれば幸いです。



目黒緑の少年隊の皆様



好天に恵まれた四月二十六

日、愛媛県松野町滑床溪谷で、今回、初めての、「滑床アウトドアフェスティバル2014」が開かれ、当センターの木工体験コーナーも大盛況となりました。

このイベントは、平成二五年一月に設立された「NPO法人森の国ネットワーク」の主催で、宇和島圏域・四万十川流域に点在するアウトドアスポーツの業者間の連携を図り、「エリア」として総合的に情報発信することで、各事業者の

発展に寄与すること等を目的に、エリア内のアウトドアスポーツを一同に紹介できるイベントとして開催されたもので、活動エリアである当センターにも要請があり、参加しました。



木工クラフト大盛況

会場周辺では、キャニオニング、ロープ木登り、フライフィッシング、スラックライオン等が行われました。

当センターの木工体験コーナーは、松山市等から

の親子連れや大学生のグループ等、沢山の人が訪れ、クマのストラップ作りや、丸太の輪切りを楽しんだり、イベント開催中、体験コーナーには、お客さんの途切れることなく、多くの方が訪れ、手作り木製品の良さをPRするとともに、地域との結びつきが深められた一日となりました。



丸太の輪切り難しい